

はい!

京丹後市立 久美浜病院 広報

久美浜病院 です!

久美浜病院基本理念

- 笑顔と心のこもった良心的な医療
- 地域に密着した温もりのある確かな医療
- 保健・医療・福祉を一体化した包括医療



2019キッズドクター・キッズナース参加の皆様

CONTENTS

- **内科特集** 内科医長 中西優市郎 2
- 2019夏だ!集まれ!キッズドクター・キッズナースの様子 3
- 京丹後市高齢者大学出前講座/久美浜病院まつりのお知らせ 4
- 京都府立医科大学医学部生地域医療滞在実習の様子/接遇向上委員会の取組 5
- 久美浜病院へのアクセス 6

令和元年
10月発行

通算 90号

内科特集

内科医長 中西 優市郎

■日本内科学会認定内科医
■日本プライマリケア連合学会
■日本リウマチ学会

当院の 内科には常勤医6名、連携病院からの専攻医1名・初期研修医1-2名が在籍しています。メンバーは循環器、消化器(肝臓病、内視鏡)、リウマチ膠原病、総合内科など多様なバックグラウンドを持っていますが、その専門性によらずで

きるだけ地域の方々の健康上の不安・悩みに応えられるように日々診療しています。私は、総合内科とリウマチ膠原病を専門としています。日々の診療では患者さんから相談を受ける問題に取り組むのはもちろんのこと、患者さんの隠れたニーズに応えることを大切にしています。例えば頭痛、便秘・下痢、不眠症、生理痛、鼻炎、長引く咳、抑うつなどは、非常にありふれた症状ですが生活の質を大きく損なうものです。片頭痛は日常的に病院に来ない若い世代を中心に治らないと諦めている方がいらっしゃいますが生活指導や投薬で改善可能な場合が多いです。不眠症の中には睡眠薬で悪化し別の治療で改善する睡眠時無呼吸症候群などの原因があり積極的に問診・検査・治療をしています。水曜日に夜診をしていますので日中の外来と合わせてご活用いただきたいです。

リウマチ膠原病 分野では、体があちこち痛いという関節リウマチ、脊椎関節炎などのリウマチ性疾患、発熱を始めとする多様な全身症状を呈する全身性血管炎などの稀な膠原病疾患の診療をします。痛みの原因がわからずに苦しんでこられた患者さんの痛みを和らげ、生き生きとした日常生活を取り戻す支援するのはとても喜びが大きいです。現在、リウマチ性疾患は関節超音波やMRIの普及による早期診断が可能で、生物学的製剤を始めとする薬剤の進歩により多くの患者さんの痛みを軽減できるようになりました。リウマチ膠原病疾患は全身疾患であり、内科、整形外科、口腔外科、心療内科などの多診療科で連携して診療しています。全身の痛みや発熱が続くなどお困りの症状があればお気軽にご相談ください。



診療部長
瀬尾 泰正

■日本内科学会認定総合内科専門医 ■日本循環器学会認定循環器専門医 ■日本救急医学会専門医 ■日本消化器内視鏡学会認定専門医 ■日本プライマリ・ケア連合学会家庭医療専門医・指導医 ■日本血液学会 ■日本環境感染学会 ■ICD (Infection Control Doctor) ■インストラクター (ICLS, JPTEC, JATEC, MCLS) ■ICLSディレクター



内科部長
田儀 英昭

■日本内科学会認定総合内科専門医 ■日本循環器学会認定循環器専門医 ■日本消化器内視鏡学会認定消化器内視鏡専門医 ■日本プライマリ・ケア連合学会認定プライマリ・ケア認定医・指導医 ■日本医師会認定産業医 ■自治医科大学 臨床准教授 ■日本高齢消化器病学会 ■日本心血管インターベンション治療学会



内科部長
沖田 美香

■日本内科学会認定内科医 ■日本肝臓学会認定肝臓専門医 ■日本消化器病学会 ■日本医師会認定産業医



医師
小池 洋平

■日本内科学会認定内科医 ■日本内科学会 ■日本糖尿病学会 ■日本感染症学会

超高齢社会の 本邦の中でも高齢化率35%を越える京丹後市では、住み慣れた地域で自分らしく暮らすことを人生の最期まで続けられる支援をする「地域包括ケア」が早くから求められてきました。久美浜病院では全国に先駆け地域をあげての医療・介護の連携を深めてきた歴史があります。当院では周囲の医療機関との連携や地域の医療・介護スタッフとの顔の見える関係の構築により、緊密な連携ができていたことが当院の強みのひとつです。これは本人、家族を始めとする関係者が納得いく人生のあり方を支援することに繋がっています。

先日、 地域の高齢者の集まりで、「もしも」の時の話を「もしバナゲーム」というゲームをしました。参加者は80-90歳代のお元気な方で、最期のときの希望はまさに十人十色でした。人の考えにはとても多様性があり、対話の必要性を改めて実感しました。参加者の中で自分の考えを家族と共有されている方はごくわずかでした。現在厚労省が「人生会議(アドバンス・ケア・プランニング)」を普及・啓発しています。「人生会議」とは、もしもの時のために、自分が望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組です。当院では「人生会議」にも多職種で取り組み、多様な価値観に寄り添う医療を実践していきたいと考えています。

また認知症の方々ができるだけ自分の意志を尊重され、心地よく過ごせるように病院全体で高齢者の意思決定支援やユマニチュードなどの認知症ケアの研修に取り組み、相手の立場に寄り添うケアを心がけています。高齢者で認知症が疑われる方、転倒が増える、食べられなくなってきたなどお困りのことがあればお気軽にご相談ください。

久美浜病院では 患者さんやご家族との距離が近い信頼を実感する機会が多く、私にとっては「目の前の人の役に立ちたい」という医師になった初心に立ち返ることができる場所です。久美浜病院は長年勤務されている多職種の方々が少しずつまいてきた種が育ちいがあります。種をまいて花が咲くには時間がかかります。私も将来に繋がる種を少しずつまいて育てていきたいです。



診療部長
山本 康

■日本内科学会 ■日本消化器病学会 ■日本消化器内視鏡学会 ■日本超音波医学会 ■日本医師会認定産業医

久美浜病院・夏休み特別企画

第9回「夏だ集まれ!くみはまキッズドクター、キッズナース」を開催しました。

地域に開かれた病院として、地域住民に医療の現場を理解していただくとともに、地域に根ざした医療人材の育成を目指して、第9回「夏だ集まれ!くみはまキッズドクター、キッズナース」を開催しました。

この取り組みは、市内の小学5、6年生を対象に、実際の医療現場の体験を通して、未来の地域医療を担う医師や看護師などが育ってほしいとの願いを込めて開催しているもので、本年度は市内9つの小学校から31名の方に参加いただきました。

将来、医療関係の職を志す児童も多く参加し、なかでも、病院探検として行った薬局の調剤模擬体験は1番の人気でした。

第一部

☆診療の準備をしよう☆

- 聴診器を使ってみよう
- 血圧、脈拍、体温、呼吸の測り方
- エコーで体の中を見てみよう
- 心臓のリズムを心電図で観察

第二部

☆病院探検をしよう☆

- 外来・手術室・薬局・検査室など

第三部

☆僕は私は

- 今日から ドクター&ナース☆
- 家庭でも出来る応急処置の実際

手術室内資機材の見学



内視鏡カメラモニターで胃の中をチェック



血管透視の様子



内視鏡手術トレーニング体験



調剤体験は人気No.1



修了証を受け取りました。



参加者からの感想

「多くの方と関わり、楽しかったです。困っている人があれば助けてあげたい。来年も参加したい」などの感想をいただきました。

京丹後市 高齢者大学 出前講座

京丹後市高齢者大学大宮学園一般講座として、
当院より歯科口腔外科の園部診療部長が
講演のお招きをいただきました。



講演会の様子

講演では、口腔内の健康維持を行う上で重要な「口からはじめる健康づくり」をテーマとして、大宮地域公民館受講生40名が参加されました。

最初に、有名人が罹患し報道でも取り上げられた口腔がんについての紹介をしました。進行がんでは咀嚼・嚥下・構音機能が障害されることにより生活の質が低下するため、早期のがん発見が重要であることを説明しました。現在、前癌病変を含めた口腔がん検診が全国でさかに行われていることについてもふれました。

次に、歯科疾患と全身疾患の関連についてお話ししました。齲蝕、歯周病といった疾患を予防し、残存歯数を維持することは重要で、残存氏が少なくなると高齢者では死亡率が上昇するといった研究、認知症発症リスクが上昇するといった研究について紹介しました。また、歯周病は心疾患や糖尿病、誤嚥性肺炎などの全身疾患との関連があり、オーラルケアが重要であることを説明しました。

さらに食べこぼし、むせなど、口腔機能の衰え（オーラルフレイル）は栄養摂取不足を引き起こし、全身の筋力低下をもたらす可能性があることについて説明しました。さらにその状態が継続すると身体機能の衰えにつながり、ひいては要介護状態に移行し寿命にも影響する可能性があることを紹介しました。そのため、早い段階でフレイルを予防し、咀嚼・嚥下機能を維持することが重要であることをお話ししました。

11月4日

文化の日
振替休日

久美浜病院まつり のお知らせ

市民のみなさまに愛される病院をめざし、地域のみなさまとのふれあいの場として、恒例となりました第6回「久美浜病院まつり」を開催します。

只今、実行委員会を中心にさまざまなステージイベント・模擬店などを計画中です。

株式会社紫野和久傳 桑村 綾 様の特別対談を予定しております。

是非お越しください。

昨年の病院まつりの様子

♪ 峰山高校軽音楽部の皆様のライブ
♪ ジャグラーかいゆうさんによる
バルーンアート体験コーナー
なども予定しているよ!

京都府立 医科大学医学部生 地域医療 滞在実習の様子

令和元年度 地域医療教育推進事業実習 の様子について

この実習は、京都府北部地域における地域医療の現状を理解し、問題と課題を発見し、地域住民の視点と医療者の視点から解決策を議論し、医療者としての意識・使命感を養うことなどを目的とするものです。

当院では、9月2日～6日までの5日間、京都府立医科大学医学科5年生6名と看護学科3年生4名の計10名の学生が参加されました。

実習では、当院での病棟、訪問看護、通所リハビリ、近隣の診療施設、福祉施設、調剤薬局などの業務も経験されたほか、丹後町間人 東 世津子様の京丹後市の歴史に関するご講和をお聞かせいただきました。また、いのちをテーマにしたふれあい授業を久美浜小学校でおこなうなど地域の皆様との交流が図られました。

学生の皆様は京都府北部地域における医療の現状と課題について真剣に学ばれていました。



地域の小学生と未来を語り合う



久美浜小学校の皆様



東世津子さんのご講演

接遇向上 委員会の取組

接遇向上委員会（委員長 岩見均 副院長）、患者の皆様に対する普段からの心配りと接遇マナー向上、啓発のため、接遇に関する標語を各部署から募集する『標語コンテスト』を実施しました。多くの応募のなかから、最優秀賞1点、優秀賞2点を選定しました。

今後、これらの標語を胸に、職員一同、一層の接遇の向上に努めていきます。

最優秀賞 ● 管 理 課

久美浜2020 笑顔の金メダルをめざそう!

優 秀 賞 (2組)

● 2 病 棟

① ばろうよ
② みんなの
③ はーと
④ まごころを

● 放射線室

磨きます 技術も 笑顔も 優しさも



久美浜病院への アクセス

「豊岡市からも意外に近い久美浜病院」

当院は、京丹後市の最北端に位置し、隣県の兵庫県豊岡市中心市街地から車で約20分（11km）でご来院いただくことができ、患者の皆様には『案外近い』と感じていただけます。

京丹後市内はもとより、豊岡市内、城崎町、但東町からなど市外からもご来院いただいております。

紹介状をお持ちでない方も受診していただくことができます。



公共交通機関

豊岡駅より京都丹後鉄道久美浜駅まで15分

———京都丹後鉄道久美浜駅から750m 徒歩10分



（丹海バス・市営バスをご利用いただくことができます。）



お車でお越しの場合

京都縦貫自動車道 京丹後大宮ICより35分

北近畿豊岡自動車道 日高神鍋高原より45分



標榜診療科目

内科、外科、整形外科、小児科、小児外科、小児歯科、泌尿器科、歯科、歯科口腔外科、心療内科、眼科、皮膚科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、麻酔科

救急外来にも対応しています。

入院病棟

一般病床110床 療養病棟60床 計170床

詳細は『外来医師担当表』をご覧ください。

外来医師担当や、休診・代診情報は久美浜病院ホームページでご確認いただけます。

発行／京丹後市立久美浜病院 編集 広報委員会

〒629-3403 京都府京丹後市久美浜町161番地 電話：0772-82-1500
ホームページ <http://www.city.kyotango.lg.jp/shisei/kikan/hospital/kumihama/index.html>